

# かがやく女性

- The Fukui Women's Foundation News Letter -

vol.50

2021年3月20日発行  
(公財)ふくい女性財団

## ふくいきらめきフェスティバル2020

みんなの力で地域を元気に ～肌で感じよう自信と誇りのふくい～

コロナ禍での初試み!

県内2ヶ所のサテライト会場へライブ中継

令和2(2020)年11月8日(日)

メイン会場:坂井市 高椋コミュニティセンター  
サテライト会場:鯖江市 嚮陽会館、パレア若狭



田村実行委員長 挨拶



杉本知事 祝辞



浜田敬子氏 記念講演

▶記念講演の様子は、2ページで紹介しています。

### 坂井市おもてなし事業



坂井市の特産品等の販売



丸岡高校地域協働部による  
そば打ち実演とそばのふるまい

### 展示と販売



ガールスカウト福井県連盟の  
手作りエコバッグ販売



福井県生活学校連絡協議会  
の展示

### サテライト会場では、記念講演等のライブ中継後にリアル企画を実施

[ 鯖江市 嚮陽会館 ]

朗読劇「鯖さん一家“コロナ禍の手探り挑戦”」

さばえ男女共同参画ネットワークの皆さん



自作自演の朗読劇により、普及啓発活動を行っている“さばえ男女共同参画ネットワーク”。参加者は楽しみながら、コロナ禍での男女共同参画について、あらためて考える時間となりました。

[ パレア若狭 ]

講座「野菜ソムリエだからこそできる『災害時ごはん』」

講師 野菜ソムリエプロ・防災士 中島早苗氏



コロナとともに暮らす今の時代だからこそ、旬の食材で“免疫力アップ”を図る必要性や災害時ご飯の作り方などを、分かりやすい説明で学び、生活に活かせる講座となりました。

＼お疲れさまでした！  
14名の企画委員の皆さん



### 福井県男女共同参画社会づくり功労者知事表彰

[個人] 千田 要子 様 (若狭町)

西 芳子 様 (永平寺町)

[団体] 国際ゾンタ

福井ゾンタクラブ





## 「コロナ禍×女性・地域の可能性」

Business Insider Japan 統括編集長(講演当時) **浜田 敬子** 氏

「モーニングショー」や「あさチャン!」など情報番組でコメンテーターとしても活躍されている浜田さんから、コロナ禍における地方と女性の可能性をテーマにお話いただきました。

### これまでの女性の働く環境は…

私が朝日新聞に就職した1989年は、男女雇用機会均等法世代の第3期と言われています。

当時、国や企業では、女性の転勤・昇進、管理職登用へのビジョンも確立されず、まだ結婚・出産後も働き続ける環境を整備していなかったため、現在も総合職として在籍する同級生はごくわずかです。

2000年に入り、ダイバーシティという言葉も登場し、企業内保育所の開設や時短勤務の制度化等、働く女性の環境整備が進みましたが、育児と仕事の両立に苦しむのが、次の10年の世代です。その後企業は、育児と仕事の両立支援制度を推進しましたが、結果、育休復帰後の女性がマミートラック現象<sup>※1</sup>に陥いるという問題は現在も残っています。

また、2015年の電通の事件<sup>※2</sup>をきっかけに、政府は働き方改革に乗り出します。その後、残業規制も強化され、すべての人が長く健康的に働く環境が整備されつつあった最中で起きたのが、新型コロナウイルスの感染拡大でした。

※1 育児休業復帰後、時短勤務を続けると上司からは一人前と認められず、補助的な業務を担当させられるため、育休復帰者の昇進・昇給が遅れ労働意欲を失っていく現象。

※2 2015年に電通の若い女性社員が、長時間過労を苦に自殺する事件が起きた。

### 在宅勤務(リモートワーク)の衝撃と効果

2020年4月、政府が緊急事態宣言を出した途端、在宅勤務100%が半強制的に始まりました。私は、この在宅勤務が女性の活躍できる土台になると期待しています。ある通信会社で働くシングルマザーは、母親の介護のため、以前から在宅勤務と時短制度を活用していました。しかし男性ばかりの職場で、彼女だけが制度を利用していたこともあり、能力を発揮できず肩身の狭い思いをしていました。全員在宅勤務となった途端、彼女は既に慣れていて生産性の高い仕事ができただけで、自らフルタイムに戻したそうです。「初めて男性と仕事で切磋琢磨でき、堂々と自分らしく振舞える」と話していました。

### 働き方は戻らない、戻してはいけない

緊急事態宣言の解除直後、全員出社を再開した大企業が何社もあります。社員は、企業が社員の働きやすさや健康に配慮しているかどうか気づく良い機会になったと思います。同時に社員に配慮しない企業からは、今後人材の流出が予想されます。

ある調査では、20代の7割が引き続き在宅勤務を希望するという結果も出ており、これからは、就・転職先を選ぶ基準として、在宅勤務を認める会社であるかどうかにも注意深く見るようになるでしょう。

Business Insider Japanでは、2019年に若い読者50人と長崎県五島市で、1か月間リモートワークの実験をしました。今回の実験で私も参加者も五島を好きになり、ふるさと納税をしたり、現地で起業し行ったり来たりする人が出てくるなど、たくさんのサポーターができました。

地方の自治体は、都会からの移住や関係人口増加に力を入れていますが、いきなりの移住はハードルが高いと思います。「自分の人生を主体的にデザインしたい」という若い人たちの潜在的ニーズもあり、リモートワークという武器があれば、子どもが小さいうちは、地方に移住して働こうと思う人も増えるのではないのでしょうか。

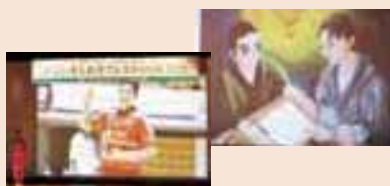
### これからの時代の変化で求められる力

AIの時代になると、人間にしかできない仕事と人間でなくてもできる仕事ははっきり分かります。これから求められるのは、変化に対応する力と変化を楽しむ力だと思います。そして変化に柔軟に対応するには、その時々に必要なスキルを身につけることが必要です。

私は以前から、定年後も大好きなメディアの仕事の続けたいと考えていました。そこで、当時私が必要と感じていたデジタルの知識を学びたく、50歳でWEBメディアへ転職しました。

あれから4年近く経ち、転職して本当に良かったと思います。最初の頃は大変でしたが、新しいスキルや知識を身につけ、自信が付き、取材で若い世代の起業家や経営者の考え方を学び、自分自身も成長できました。

私はどこに住んでいても、変化を楽しみ、変化を恐れなければ、何でも挑戦でき、誰でもチャンスが広がる時代になったと思っています。皆さんも目の前の小さな変化を見逃さずチャンスと捉え、変化に挑戦することを楽しんでください。



#### オープニング

- 福井丸岡 RUCK 活動紹介
- 丸岡高校による紙芝居

### ふくいきらめきフェスティバル 2021

- 令和3年6月19日(土)
- 福井県生活学習館(ユニー・アイふくい)

# コロナ禍に起こった家庭内の現状とは!? 今、試される人間力!

2020年3月、一斉休校が告げられたあの日、

“学校休校→子どもが家にいる→一人で留守番無理、家に一緒にいなくては? →仕事を休まなくてはいけない?”と考えた方はどれほどいらしたでしょうか?

子育て世代に限られたことではありませんが、男女比にすると圧倒的に母である女性たちが頭を悩ませました。男性の家事・育児参加が幾分増えた昨今ですが、コロナ禍の非常事態での対応となると、男女の意識的な格差がはっきりと表れました。

2/6の指導者養成講座『コロナ禍だからこそ改めて考えよう! 家庭内の男女共同参画の現状と課題』で、家族社会学の研究者である、石井クンツ昌子先生(立教大学特任教授・お茶の水女子大学名誉教授)は、図Ⅰおよび下記◆の問題点をあげられ、課題解決に向けた下記◎の提案をされました。

◆新型コロナにより「家時間」が増えたことで、家庭内役割における男女不平等がより鮮明になった。

「コロナ離婚」「コロナDV」「コロナ児童虐待」「コロナ鬱」

「コロナが関係しているかもしれない女性の自殺率の増加」

2020年の女性の自殺率がアップ(前年比885人↑)

男性は減少(前年比135人↓)

◎個人・職場・行政などが連携協力し、一丸となって男女平等の実現を目指すことが必要。(図Ⅱ)

◎父親の育児・家事参加は、子ども・妻・夫婦関係・父親自身・職場への良い影響をもたらす。

図Ⅰ



図Ⅱ



2/6 指導者養成講座資料より

新型コロナウイルスの感染拡大で、休校をはじめ外出自粛などの行動変容が迫られました。その中で、在宅ワークや家庭での過ごし方を、社会全体で模索し実行されました。父親または男性は、家事・育児に参加する時間が増え、男女問わず仕事との両立に奮闘する姿が多く見られるようになりました。

このような状況だからこそ、男だから女だからではなく人間として何ができるかを考える社会になることを願います。

## 令和3年度 ふくい女性財団 講座案内

前期開催予定の講座を紹介します。

6  
・  
7  
月

- キャリアアップ応援講座(マナー)
- 新米パパママ応援講座(防災)
- 再就職支援セミナー
- 育児休暇からの復帰応援セミナー
- 管理職のための女性人材育成セミナー

8  
・  
9  
月

- キャリア・アカデミー(管理職予備層)
- 指導者養成講座(LGBTQ)
- キャリアアップ応援講座(マナー)嶺南
- 女性のための就職面接会

※新型コロナ感染拡大によっては、講座の開催時期の変更または中止する場合があります。

※詳細は、ふくい女性財団のホームページをご覧ください。

### PICK UP

講師を無料で派遣します!

- (1)企業連携講座(対象:ふくい女性活躍推進企業)
- (2)地域連携講座・県民活動支援講座  
(対象:地域や県内全域で活動する団体)
- (3)教育連携講座

(対象:学校、PTA、教育関係 団体等)

研修テーマは女性活躍推進および男女共同参画推進を目的としたもので、生活学習館で開催する場合は、会場使用料が免除されます。

# コロナ禍

～こんな工夫、こんな内

コロナ禍の中、従来の実施方法では、講座の開催がオンラインツールを取り入れたり（デジタル化が加速）新たな講座運営にチャレンジした一年でした。講座はこれまでより、さらに良いものになったものもありました。

## 教育連携講座

校内放送が使える！！

学校の体育館に集まることができない！

高校の放送室から、生徒の皆さんに向けてお話するスタイルで実施。「安心できる関係づくり～デートDVの被害者にも加害者にもならないために～」をテーマに、生徒の皆さんには他者とのより良い関わり方について考えてもらいました。（福井工業大学付属福井高等学校全校生徒対象）



## 指導者養成講座

オンライン会議ってそもそも何？

オンライン会議をこれからやってみたい方を対象に、体験講座を開催しました。会場内に模擬オンライン会議の場を設定し、受講者は、会議の招待メールからオンライン会議の場に入場し、画面上で会議に参加する行程を体験しました。自分だけでなく他の人の工程を会場内で共有すること、講師からオンライン会議の概要について説明を受けることで、理解を深めることができました。



## キャリアアップ



マスクをつける生活が続きそうだけど、メイクはどうしたらいいの？

## 企業面接会

YouTubeが使える！！



企業面接会では、申し込みされた方は、求人内容や事業所のHPをインターネットで事前に確認するとともに、仕事や子育てに関する動画を視聴しました。その後、面接を希望する事業所を決め、予約をした上で、面接会場で直接事業所との面接に臨みました。

このような形態で実施することで、参加者にとっては、自宅で子育てしながら企業の情報が得られたことや、予約制にしたことで、時間を気にすることなく面接に集中できた、という利点がありました。一方でどんな仕事に就こうかまだ決めかねている方に事業所がアピールする機会が減り、参加者側としても、様々な事業所の情報について知る機会が減ってしまったという面があり、今後の課題となりました。

## 再就職支援セミナー



事前収録でセミナーの動画を制作し、申し込みされた方に配信しました。受講者の皆さんは、自分の都合のよい時間に、興味のある内容を選んで動画を視聴することができました。そして、就職活動の進め方を学び、働くことが、今後の自分のキャリアや家計にどのように反映するのか考えることができました。

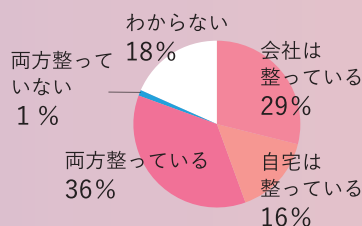
## オンライン講座に関するアンケート

1 オンライン講座を受講したことがありますか？  
はい 40% いいえ 60%

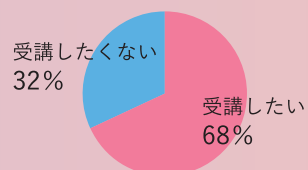
2 (①で「はい」と答えた人に質問)  
使ったことのあるシステムは？

1位 Zoom	60%	4位 Google meet	6%
2位 Microsoft teams	18%	5位 webex	5%
3位 Skype	9%	6位 その他	2%

3 オンライン講座を受ける環境は整っていますか？



4 オンライン講座を受講したいですか？



5 オンライン講座を受講する際に心配なこと、困ることはありますか？  
はい 49% いいえ 51%

# でチェンジ

## 内容で講座を開催しました～

できない状況に直面した本年度。ふくい女性財団では、既存の物を工夫したり(アナログツールの見直し)、対面でしかできないと思い込んでいたことも、工夫をすることで、私たちのチャレンジが、皆さんのお役に立てれば幸いです。

### 応援講座

マスクメイクのポイントとして

- 丁寧メイクをして、チークなどで健康的に見せること
- マスクをしていない時よりも眉のメイクの重要性は高い
- 眉は描き方で印象を変えることができる

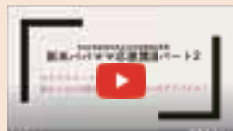
などを学習しました。

受講者は講師の指導を聞き、鏡を見ながらメイクの方法を確認していました。

その他、しわやたるみに効くリンパマッサージも習い、実践しました。

### 新米パパママ応援講座

この講座では「子連れ防災」と「子どもの睡眠」をテーマに、感染症対策に十分留意した上で実施し、親子で子育てのポイントを学びました。



また、講座を収録した動画を、感染が気になり参加を見合わせた方などの希望者に後日配信し、忙しい日々の中、自宅でパパやママの都合の良い時間に受講できる機会も設けました。

### キャリア・アカデミー

Zoomが使える！！

講師が福井へ来られない！！

首都圏との往来自粛の要請のため、講師の来県が叶わず、東京の講師と受講者がいる生活学習館をZoomを使ってオンラインで結びました。

WEBカメラで会場全体を撮影したり、質問者の顔が見えるよう複数台のパソコンを使用したりして、開催しました。

会場でのグループワークに対して大画面に映る講師からたくさんのアドバイスをいただき、受講者の皆さんは、リーダーとしての資質を高めることができました。



これもZoomが使える！！

大学に出向けない

### キャリアカフェ

これまでのキャリアカフェは、キャリア相談員と働く女性が各大学に出向いて、女子学生を対象に交流会を行っていました。

今年度はZoomを活用し、女子学生の皆さんは自宅などから参加しました。会場にいる働く女性の皆さんと交流し、就活、キャリア、自分に合った働き方などについて、楽しみながら情報を得ていました。

また、今回の新しい企画として、“好印象を与える”ミニ講座もオンラインで同時開催しました。女子学生の皆さんは、メイク講座またはコミュニケーション講座のいずれかに参加し、好印象を与えるスキルを身につけました。



## ト (対象者：2020年6～12月講座受講者 回答者数：190人)

### オンライン講座を受講したい人の意見

- 自宅や会社などから手軽に研修を受講できる
- 子どもが小さいので、遠方の研修はなかなか行きにくい
- 地方在住でも受けられる
- 移動時の経費と時間の節約

### オンライン講座を受講する際に心配なこと。困ること

- パソコンやスマホなどの機械が苦手
- 通信トラブルが心配
- 個室が準備できない

オンライン講座を受講したい方は約7割、自宅か会社のいずれかには環境が整っている方が8割と、オンライン講座への意欲、環境が整ってきた様子が伺えます。オンライン講座の良いところ、対面講座の良いところをそれぞれ活かして、今後の講座開催を考えていきたいと思えます。

### オンライン講座を受講したくない人の意見

- リアルと熱量が違う
- オンラインは気が向かない
- 自宅で集中して講義を聞けない
- PC環境も含めてスムーズに受講できるかわからないため

# ふくい女性財団は、女性のいろいろな相談に応じています

こんな時は！

お気軽にお問い合わせください



- 自分がどんな仕事に向いているか知りたい
- 就職についてアドバイスがほしい
- キャリアアップしたい
- 子育て支援についての情報がほしい

- 家族・夫婦・友人関係がうまくいっていない
- 離婚を考えているけど、その後の生活が不安
- 子育てについて悩んでいる
- パートナーから暴力を受けている

- 資格取得の自主勉強がしたい
- ユー・アイふくいの講座を受けたい
- 育休復帰のための勉強がしたい

## ふくい女性活躍支援センター

求人検索や紹介状の交付、求人を探す前の心の内の悩み相談、小さいお子様をお持ちの方には保育所の相談まで、就職にまつわる相談がワンストップで受けられます。事前にご連絡いただくと、よりスムーズに対応できます。オンライン相談も可

- 就職相談・職業紹介
- 保育所・子育て相談
- キャリア相談(事前予約制)
- 創業相談(事前予約制)
- ひとり親就業相談
- 福祉人材就業相談(第2・第4木曜日・要予約)

《お問合せ》

☎0776-41-4244

9:00～16:45 火～日曜日

## ユー・アイふくい相談室

コロナ禍であなたの日常は大丈夫？  
悩みは一人で抱え込まず、まずはお電話ください！

悩んでいる方には、相談窓口があることをお伝えください。

※面談の場合は予約をお勧めします。

- 女性総合相談・DV被害相談
- 法律相談(弁護士)(第4土曜日)
- こころの相談(臨床心理士)(第1土曜日)

《相談専用TEL》

☎0776-41-7111

9:00～16:45

火～日曜日

## チャイルドルーム

生活学習館(ユー・アイふくい)、中小企業産業大学校、県立図書館で行われる各種行事への参加や自主学習、ふくい女性活躍支援センターを通じて行う職業訓練や就職活動、キャリア相談、相談室での各種相談時などにお子様を預かります。

利用時間：9:00～12:00、13:00～17:00

料 金：半日300円/人

対 象：生後6か月～小学校入学まで

申込み：ご利用の3営業日前までに

Webにてご予約

<https://www.f-jhosei.or.jp/childroom/>



## 共に応援してくださる財団サポーターになりませんか？

### 賛助会員募集

ふくい女性財団では、「男女が共に家庭、職場、地域で活躍できる社会」を目指して、男女共同参画や女性の活躍推進のための研修会や意識啓発、情報収集と提供、賛助会員団体等への活動支援などを実施開催しています。こうした財団の趣旨に賛同し、応援し一緒に歩んでくださる賛助会員を募集しています。

年会費 県域法人および団体 10,000円/口

地域法人および団体 5,000円/口

一般(個人および企業) 3,000円/口

### 会員特典

機関紙・研修案内送付、有料講座の割引

研修会等への優待、生活学習館1階 レストラン サニースマイル割引券

女性団体支援事業への助成(要審査)

### 寄附金募集

<DV被害者自立支援基金><一般寄附金>の寄附を幅広く募集しています。いただいた寄附金は、DV被害者への金銭的支援や当財団の運営に有効に使用させていただきます。個人・企業・団体様を問わず3,000円から受け付けております。

### 令和2年度 寄附のご紹介 (2月末日現在、日付順)

「DV被害者自立支援基金」総額 3,000円

・匿名希望 様

「一般寄附金」総額 33,000円

・佐飛敏治 様 ・匿名希望 様 2名

ご寄付いただいた皆さま方に、心からお礼申し上げます

### DV被害者自立支援資金活用状況 (2月末日現在)

・2件 60,000円

※当財団の賛助会費と寄附金は税制上の優遇措置対象 詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

# いま輝いています

## 〔新規加盟団体〕 女性の社会生活活動部 フルード

はじめまして。女性の社会生活活動部フルードと申します。フルードは、シングルマザー、シングルマザーになるかもしれない方と子どもたちを応援するグループです。

ひとり親と子どもが生き活きと暮らせる社会になることを目指して、セミナーや勉強会、グループ相談会、メルマガ配信、食料支援などを行ってきました。当事者を中心に2014年8月から活動を始め、現在では100名以上のひとり親の方がメール会員に登録していらっしゃいます。ときには活動のお手伝いをさせていただくこともあります。

昨年はコロナの影響でほとんどの活動が中止になりました。その代わり食料支援に注力した一年でした。一斉休校が始まった昨年3月から、ひとり親家庭に食料等の支援を継続的に実施し、その数は約670世帯にのぼりました。

今後は、対症療法としての支援だけでなく、シングルマザーサポート団体全国協議会と連携を取りながら、包括的支援の仕組みづくりなど、新しい事業にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。



## ふくいSDGsパートナーに登録しました

2020年12月18日、ふくい女性財団は「ふくいSDGsパートナー」として登録されました。

当財団はこれからも、男女共同参画や女性の活躍応援に取り組む様々な団体の皆様や、企業・行政と連携しながら、持続可能な地域・社会づくりをすすめて参ります。



※「ふくいSDGsパートナー」とは… 福井県がSDGsの理念に沿いながら持続可能な地域・社会づくりを全県一体となって進めるために創設した「福井県SDGsパートナーシップ会議」の活動に参加する企業や団体

## 会員のつどいを開催しました

〔令和3年3月7日 @福井県生活学習館〕

コロナの影響で中止した「新年のつどい」に代わり、“世界女性デー”（3月8日）にちなんで交流の場を設けました。

福井市出身でリケジョ（理系女子）& 歴女の顔を持つ佐々木（東山）成江さんが「未来を創る女性の力」と題して講演。その後、杉本知事や講師も交えて抽選会や活動PRで交流を深め、男女共同参画推進に向けた活動のさらなる充実を誓いました。



**佐々木（東山）成江 氏**  
名古屋大学大学院理学研究科准教授/ お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所准教授・総長補佐/ 橋本左内の顕彰団体「白鷺舎」副代表



## いきいきウーマン

県内の新型コロナウイルス治療の最前線で奮闘する、白崎さんにお話を伺いました。

福井県立病院  
感染管理認定看護師

白崎 智恵 さん



## 私のしごと

私の配属は、福井県立病院「こころの医療センター」外来で、日ごろは、こころのケアを必要とされる患者さんの看護に従事しています。その一方で、5年前に「感染管理認定看護師<sup>※1</sup>」の資格を取得し、兼任していましたが、昨年から新型コロナウイルス対応のため、専従で医療安全管理室感染制御チーム (ICT<sup>※2</sup>) において感染管理の業務に従事しています。

※1 認定看護師 … ある看護分野に熟知した専門性の高い看護師を指す。白崎さんの場合は感染管理の分野が専門。

※2 ICT … Infection Control Team (インフェクションコントロールチーム) = 病院内の感染対策を担うチーム。県立病院のICTのメンバーは医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務職員で構成。

## 感染管理認定看護師になったきっかけ

私は、もともとは精神看護に興味があり、当初はその専門性を磨きたいと思っていたのですが、当時の上司に「感染管理の認定看護師になってみない？」と声をかけて頂いたことがきっかけです。

感染管理の勉強を始めた当初は、専門用語が難解で、一時は仕事を辞めようかとも思っていました。しかし「石の上にも3年」のことわざもあることから、とりあえず3年間頑張ってみよう、その時考えることにしました。仕事を進める中で、「精神看護」「感染予防」とも、対象は来院される方はもちろん、地域における誰しにも必要な根底のケアであるという共通点に気づき、やりがいを感じるようになりました。

## 新型コロナとの闘い

感染予防の対象は、新型コロナ患者さんのみでなく、患者・ご家族はもちろんのこと、職員を含めた来院される皆さままで、その皆さまに感染予防のドレッシングを加えることが私たち感染管理の役割となります。そして、このドレッシングは、現代の社会情勢がそうであるように、院内の組織体制にも多くの変化をもたらしました。

まず、日々変化する状況に合わせた新たな組織づくりに

ついて。変化はヒトのストレスを生むもので、組織体制づくりの困難さを感じた時期もありましたが、徐々に県立病院with 新型コロナの組織体制が出来上がっていきました。感染管理は1人でできることではありません。新型コロナをきっかけに、私たちICTは全部署、全診療科の数え切れない多くのスタッフに支えられました。また、院内のみならず、県内外医療機関のICTメンバーと定期的に情報交換を行う機会が増え、病院間のネットワークも強固なものになっています。

次に、新型コロナ陽性の患者さんへの直接的ケアの介入場面について。ほかの呼吸器関連疾患の患者さんと大きく違うのは、ケアに感染予防のドレッシングが加わることです。治療環境も異なります。ウイルスにより身体が侵され、生活が一変した患者さんを多くみました。まず、周囲からの心理的・社会的ダメージに苦しむ患者さんのお姿を見ることはとても辛かったです。そして、身体的ダメージでは、急に呼吸が苦しくなり長期間意識を失ったり、中には息を引き取る方もいらっしゃいました。本当に惨いウイルスだと悲しさを感じました。逆に、入院当初は容態が不安定だった患者さんが回復され、退院の際に丁寧にお礼をおっしゃっていただいたときは嬉しかったです。「空気がとても美味しい!」と喜んで退院された方が印象的でした。

## 経験をどのように生かしていきたいか

当初の「未知のウイルス」が招いた不安混乱状態には戻りたくないです。少しずつ、未知が既知となり、最近では予防対策方法の情報を見聞きする機会が増えました。感染症状は決して軽視できるものではありません。ウイルスを知って正しく恐れ、適切に予防していただけるよう、市民講座などで地域の皆さまと一緒に考える機会を増やしたいです。

## 福井の女性に伝えたいこと

福井の女性は、縦横様々なネットワークを持っていて、人をつなげることが得意だと思います。だからこそ、新型コロナを正しく恐れて、正しい情報を広げていただきたいと思っています。同時にデマや噂を広げないようにしましょう。また、女性は調理をされることが多いと思いますが、しっかり手洗いをして、周りの家族を守っていただければと思っています。

## かがやく女性 vol.50

今回は令和3年9月発行予定

編集・発行 公益財団法人ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1 福井県生活学習館(ユニー・アイ ふくい)2階 TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260

E-mail:f-jhosei@f-jhosei.or.jp URL:http://www.f-jhosei.or.jp/